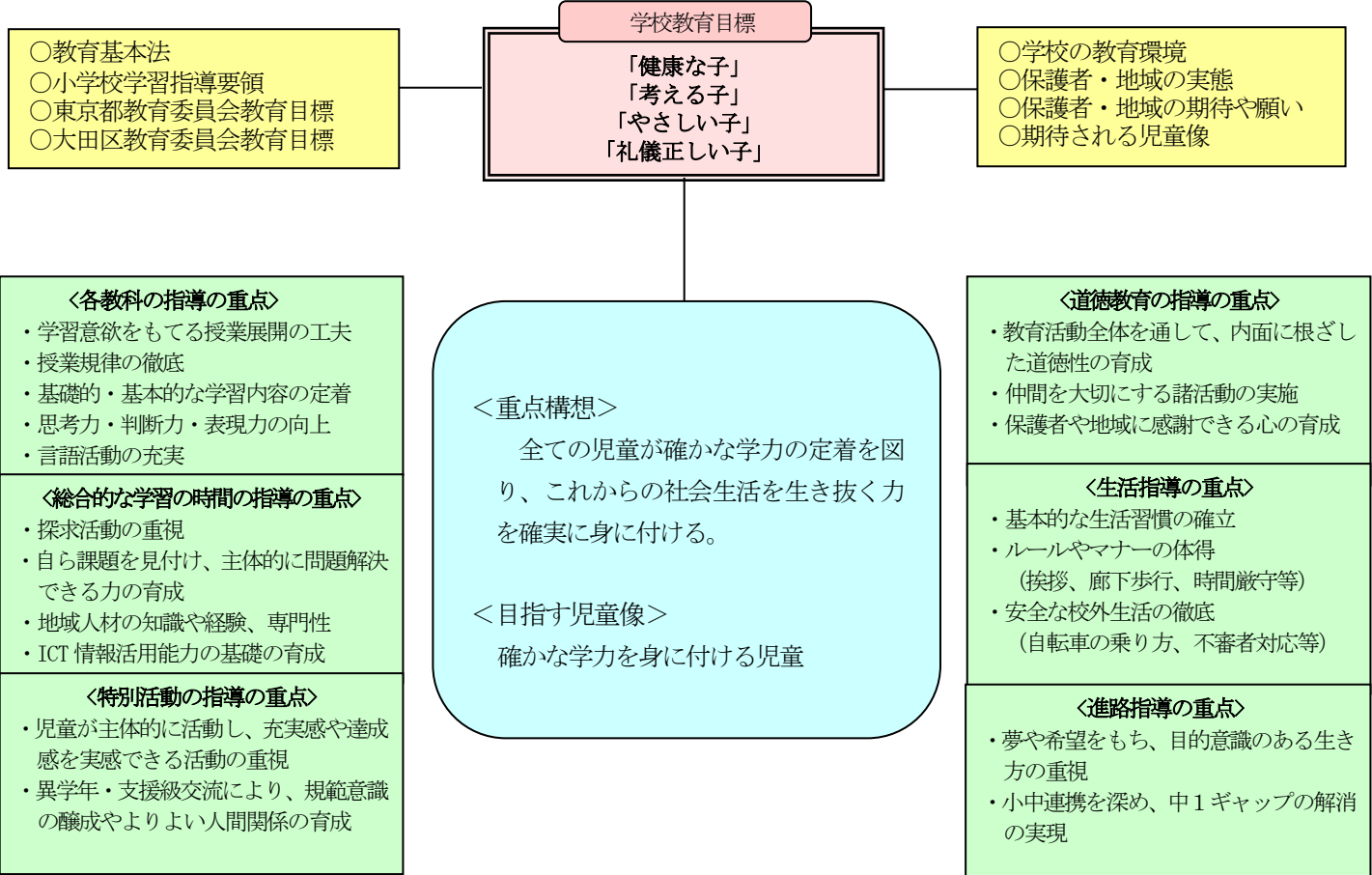


令和6年度 久原小授業改善推進プラン「全体計画」



本校の授業改善に向けた視点				
授業体制・形態の工夫	校内研修の充実	学力調査の活用	目的意識のある学習活動	保護者との連携
〇教員の専門性を生かした授業展開の工夫 ・交換授業など、教科や単位による指導体制の充実 〇授業方法の工夫・改善 ・少人数習熟度別学習や補習などによる個別指導の充実 〇授業内容の工夫・改善 ・教えることと考えさせることの明確化	〇教員の経験年数等に左右されない授業力向上を図る組織的な研修 ・研究授業・協議を行い、指導案検討の充実 ・基礎・実技・共有研修を通し、教員として必要な力の体得	〇学力調査結果により、児童の課題を明確にし、分析に基づいた重点的な指導 ・授業の導入・展開・終末の工夫 ・東京ベーシックドリル診断テストの活用	〇将来に対する夢や希望をもたせ、意欲をもって学習に取り組む姿勢の重視 〇45分間の授業では毎時間、学習目標を明確にし、振り返りを行う学習活動	〇保護者と連携し、学習習慣の日常化 〇自学自習につながる家庭学習の充実 ・「学年×10+10」の学習時間 〇反復学習の徹底 〇校外学習などでの安全面に配慮した引率